

# 県連ニュース

2010年7月1日発行  
栃木県勤労者山岳連盟

10年度県連第2回理事会・・・	1
山岳遭難・事故の現状について（講演の案内）・・・	2
全国ハイキングリーダー学校の案内・・・	3
第15回全国登山者自然保護集会実施要綱・・・	4

## 10年度県連 第2回理事会

10年6月14日（月）

19時30分より 雀の宮地区市民センター

出席者 増田俊雄（悠遊） 八木沢昌通（宇HC） 吉岡昌徳（宇HC）  
橋田弘一（宇HC） 松本一夫（宇山の会） 仙石博（山人）  
金原 武（マロニエ） 瀬野一夫（野木） 荒川克正（野木）  
川上義尚（上三川） 広瀬範子（宇HC）

### 1. 会長挨拶

### 2. 各部局報告と連絡

#### ① 事務局

県連盟費の請求書を配布した。

#### ② 自然保護部

足尾植樹祭

各会自然保護担当者会議

5月10日に、雀宮地区市民センターにて開催した。

内容は、クリーンハイクの分担と連絡調整事項および各会の自然保護活動の取り組みについて報告があった。

来年度は、この担当者会議を3月の総会終了後に開催する。

クリーンハイク

6月6日に行われた、クリーンハイクについて、集計と報告がされた。

登山道整備

6月4、5日に行われた登山道整備について報告された。

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：増田俊雄 編集責任者：橋田弘一

321-0345 宇都宮市大谷町1109

<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

### ③ 教育部

#### 県連講習会の報告と連絡

5月29日GPS講習会について報告された。

#### ハイキング楽校の報告

5月15日に、第7期ハイキング楽校が開校した。

#### 全国ハイキングリーダー学校の案内

9月18日から20日に、群馬県の湯檜曾に於いて行われる。

### ④ 組織部

#### 各会代表者交流会

別紙報告された。

#### 全国組織担当者会議報告

別紙報告された。

#### 北岳合宿等の連絡

別紙報告された。

#### 交流ハイキング実行委員会

11月14日、横根山において実施する。

#### 労山HP加盟団体紹介のページ入力について

県連30周年記念誌の各会紹介を元として労山HPに掲載する

### ⑤ その他

5月28日にNHKの首都圏ニュースの中で放送されたときの取材について経過が報告された。

## 山岳遭難・事故の現状について(講演の案内)

2010. 6. 16

栃木県勤労者山岳連盟 教育部

近年、多くの労山の仲間が山で遭難し、亡くなったり、怪我をしております。労山ではこれまでも、非常事態宣言等を出し、注意を喚起し、山岳事故防止に努めてまいりました。

我々の周囲でどのような事故がおきているのか、山岳遭難・事故の事例について、労山役員の方から、お話を伺います。

私達は、山岳遭難・事故の実態を胸に留め、そして対岸の火事とすることなく、気持ちを引き締めて、山を登るようにし、遭難や事故のない山行に心がけたいものです。

■ 日時 7月10日(土)午前10時～12時

■ 場所 宇都宮市雀の宮地区市民センター

■ 講師 日本勤労者山岳連盟 遭難対策部

■ 講演の内容

「最近の山岳遭難・事故の事例について、～トムラウシの遭難事故も含めて～」

■ 申し込み

参加者概数を把握する関係がありますので、7月8日(木)までにメールかネットで竹内(電話・FAX028-661-1091)まで、ご連絡お願いいたします。

## 2010年全国ハイキングリーダー学校 のご案内

全国ハイキングリーダー学校は2年目ごとに開催されますが、今年はより実践的な内容で、全国ハイキング委員会が直接主管して実施することになりました。

会場は、JR上越線・湯檜曾駅前にある温泉宿で、天然温泉100%掛け流し、24時間温泉を楽しめる宿です。全館を借り切って開催します。また、谷川岳にもほど近く、学校終了後はぜひ谷川岳方面にも足をのぼしていただければと思います。

**主催** 日本勤労者山岳連盟（ハイキング委員会主管）  
〒162-0814 東京新宿区新小川町5番24号 TEL：03-3260-6331  
FAX:03-3235-4324 Eメール jwaf@jwaf.jp

**目的とねらい** ハイキングのリーダーに必要な知識、また、ハイキング学校を開催するためのノウハウを講習する。

**参加できる人** 労山会員・会員外、リーダー経験の有無をとわず、誰でも参加できます。

**日時** 2010年9月18日（土）14：00開校～20日（月・祝）10：30終了  
（2泊3日） 学校終了後は11：03と11：45に谷川岳ロープウェイ行きバス（所要12分）が湯檜曾駅前を通ります。谷川岳の風景をお楽しみください。

**場所** 群馬県・湯檜曾温泉 もちや旅館（JR上越線 湯檜曾駅前）  
群馬県利根郡みなかみ町湯檜曾12 電話 0278-72-2480  
（車での参加OK）  
電車での参加の場合は、上越新幹線・上毛高原駅より水上行きバスと谷川岳ロープウェイ行きバス（「ゆびそ駅前」下車）、または湯の小屋行きバス（「ゆびそ入口」で下車し徒歩）を乗り継ぐ。

**参加費** 2万2千円（2泊5食） 労山会員外は2万4千円

**集合** 18日（土）14：00開校に間にあうように

申し込みは各会で行い参加者を県連に報告ください。

# 第 15 回全国登山者自然保護集会実施要綱

主 催 日本勤労者山岳連盟

主 管 東京都勤労者山岳連盟

2010 年 5 月 31 日

## ■ メインテーマ

### 「生物多様性の恵みを大切にし、登山文化の発展を」 ——豊かな山の自然を守り、自然と共生した持続可能な登山文化へ——

今年は、さまざまな生物の保全を目的とする生物多様性条約の第 10 回締約国会議（COP10）10 月に名古屋で開かれる年です。

日本勤労者山岳連盟は、37 年前から全国いっせいにクリーンハイク運動に取り組み、2006 年には「労山自然保護憲章」を制定、「登山文化の継承発展と山岳自然と登山者との新しい共存をめざし」、自然保護運動に取り組んでいます。

私たち人類も生物であり、他の生き物とのつながりのなかで生き、生物多様性の恵みのなかで暮らしています。私たちは各地域によって異なる伝統的な知識や文化をもって暮らしていますが、このような多様な文化は各地域の豊かな生物の多様性に根ざして生まれたものです。私たち登山者がめざしている登山文化の継承・発展は生物多様性の恵みなしには達成できません。

山岳自然は生物多様性の宝庫です。登山者には、生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたって享受できるように、山岳自然と共生する登山文化を実現していくことが求められています。

自然豊かななかで、楽しい登山を続けていくために、登山者として、どのようにしていかなければならないのか、なにが必要なのか、共に考えていこうではありませんか。

全国の登山愛好者をはじめ、登山団体、自然保護団体、研究者や関心のある市民など多数の方々が参加していただくことを心から期待しております。

◆記念講演＝小川 潔氏（東京学芸大学教育学部准教授）

・講演テーマ「生物多様性の保全と登山者の役割について」

◆日 程＝2010 年 11 月 27（土）13 時～28 日（日）12 時

◆場 所＝ブリヂストン奥多摩園

〒198-0171 東京都青梅市二俣尾 1-264 電話 0428-78-8231

交通＝JR 青梅線「石神前」駅下車 2 分

◆資料代＝500 円（夜の交流会参加者は別に 1500 円）

◆宿泊希望者は 8000 円（資料代、一泊二食付き・交流会費用含む）が必要です。

◆申し込み先・問合せ先＝東京都勤労者山岳連盟（主管）

メール又は F A X にて申し込んでください。極力、都道府県又は会単位でお願いします。締切期限は、11 月 13 日（金）です。

E-Mail [info@twaf.jp](mailto:info@twaf.jp) TEL/FAX 03-3260-0372

連絡先：都連盟自然保護委員会

理事（渉外担当）林祥介 080-2006-2073

理事（事務局予算担当）加木屋守秀 080-1208-4399

## ■会議スケジュール

【第1日目】11月27日（土）

- ・受付開始 (12時00分)
- ・開 会 (13時00分)
- ・主催者挨拶 日本勤労者山岳連盟
- ・主管 挨拶 東京都勤労者山岳連盟
- ・基調報告 日本勤労者山岳連盟自然保護委員会  
(13時20分～13時40分)
- ・記念講演 (13時40分～15時40分)  
小川 潔氏（東京学芸大学教育学部准教授）  
「生物多様性の保全と登山者の役割について」
- ・各地方連盟報告 (15時50分～17時30分)
  - ・地方連盟の5～6箇所から8～10分程度の報告を予定。
- ・食事と交流会 (18時～21時)

【第2日目】11月28日（日）

- ・受付開始 (8時30分)
- ・分科会 (9時00分～11時00分)

### ◆分科会テーマ

- ① 生物多様性の宝庫である山の自然、汚さずに自然を傷つけない登山とは——オーバーユースや携帯トイレ問題について考える——
- ② 里山の自然を大事にし、山の多様な楽しみ方を求める登山文化を
- ③ 地球温暖化と気候変動、登山者はどうすればいいか——低炭素登山について考える——
- ④ 野生鳥獣と共生するための登山者の役割——山岳地帯に進出するニホンジカやサル、人里に現れるクマ、イノシシなどについて考える——
- ⑤ 貴重な山の自然を破壊するヒトの経済活動や社会生活の問題について考える

◆分科会の討議内容報告 (11時10分～11時45分)

◆まとめと閉会 (11時45分～11時55分)

### ★オプションツアー（希望者対象）

主管の東京都連盟実行委員会で、奥多摩のハイキング・登山（小屋泊まりを含む）を企画しています。希望する山がある場合は、担当者に早めにご連絡ください。オプション登山に必要な諸経費は、参加者にご負担いただくことになります。

ご自身で計画される場合は特に連絡不要です。

- ・鹿食害の川苔山、石灰石採石の天祖山、天狗裁判の高尾山、百目名山の雲取山などがあります。

**参加希望者は各会担当者または県連に連絡ください**

